



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年5月14日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東  
 コード番号 3900 URL http://crowdworks.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉田 浩一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)佐々木 翔平 (TEL)03 (6427)8187  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	365	307.8	△283	—	△287	—	△295	—
26年9月期第2四半期	89	—	△107	—	△107	—	△108	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	△24.61	—
26年9月期第2四半期	△10.09	—

- (注) 1. 平成26年9月期第2四半期においては、当社は非上場でありましたが四半期財務諸表を作成しており、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」第211条第6項の規程に基づく四半期レビュー手続きを受けているため、平成26年9月期第2四半期の数値及び平成27年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しております。
2. 当社は、平成26年3月19日付けで株式1株につき普通株式200株の割合で、平成26年9月12日付で株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。このため、平成26年9月期第2四半期の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。
3. 平成26年9月期第2四半期及び平成27年9月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、新株予約権の残高はありますが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
4. 平成26年9月期第2四半期の「1株当たり四半期純利益」については、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」第211条第6項の規程に基づく四半期レビュー手続きを受けていないため、参考値を記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	3,008	2,332	77.5
26年9月期	1,665	1,281	76.9

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 2,332百万円 26年9月期 1,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	—	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,002	150.4	△367	—	△366	—	△367	—	△30.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
     ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
     ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
     ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
     ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期2Q	12,823,560株	26年9月期	10,896,060株
② 期末自己株式数	27年9月期2Q	一株	26年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期2Q	12,018,258	26年9月期2Q	一株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成27年5月15日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政権による経済政策や日銀による金融緩和を背景に引き続き円安・株高が進行し、個人消費や企業業績が持ち直す等、国内景気は緩やかな回復基調が続いております。

そのような経済環境において、新しい働き方を求める風潮が一段と強まり、従来の一般的な働き方であった「正社員」の減少傾向が続いております。総務省の『労働力調査』によりますと当第2四半期会計期間での「非正規の職員・従業員」比率は37.7%を記録し、9期連続で増加しており、企業による正社員中心の採用の見直しと相まって、働き方に対する価値観が継続的に変化をしております。

このような環境の中、当社は『「働く」を通して人々に笑顔を』というミッションの下、新しい働き方の選択肢を提供すべく事業を推進してまいりました。プラットフォームサービスにおいては、積極的な投資を行ったことで会員数が大幅に増加し、当第2四半期末において会員数が50万名を突破いたしました。また、エンタープライズサービスにおいては引き続き営業体制の強化を図ったことで、大企業を中心により多くの企業でクラウドソーシングの普及が進みました。今後もより多くの企業の経営課題の解決に貢献し、当社サービスの導入が進むよう、充実した営業体制を活用し、エンタープライズサービス領域ではより幅広いサービスの提供に取り組んでまいります。

以上の結果、当第2四半期累計期間において、営業収益365,787千円、営業損失は283,911千円、経常損失は287,170千円となり、四半期純損失は295,774千円となりました。

なお、当社はクラウドソーシング事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,343,008千円増加し、3,008,282千円となりました。これは、主に第三者割当増資等により現金及び預金が1,082,640千円増加したこと、また「クラウドワークス」における取引高が増加したことにより預け金及び未収入金がそれぞれ71,278千円、39,046千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度に比べ291,450千円増加し、675,536千円となりました。これは、主に「クラウドワークス」における取引高増加等に伴い預り金が111,200千円増加したこと、また、事業拡大等に伴い未払金が129,284千円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ1,051,558千円増加し、2,332,746千円となりました。これは、第三者割当増資による資本金及び資本準備金がそれぞれ673,854千円ずつ増加したことによるものであります。

## ②キャッシュフローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前事業年度末に比べ1,153,919千円増加し、2,549,892千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により支出した資金は92,187千円となりました。これは、主に税引前四半期純損失289,231千円を計上した一方、未払金および預り金がそれぞれ128,134千円、111,200千円増加したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により支出した資金は96,853千円となりました。これは主に本社移転等に伴う有形固定資産の取得による支出32,309千円及び投資有価証券の取得による支出60,509千円によるものであり

ます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により獲得した資金は1,342,961千円の増加となりました。これは株式の発行による収入であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年度9月期の業績予想につきましては、平成26年12月12日付の「東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました業績予想から修正は行っておりません。

なお、平成27年9月期の業績予想の営業収益、営業費用について、策定の前提条件は以下のとおりです。

#### ①営業収益

プラットフォームサービスにつきましては、総契約額（積極的な広告投資によるユーザー数大幅増により、前年度比230%の見込み）内の当該サービスが占める部分、メンバーの報酬確定額、及び過去実績とほぼ同等を見込むシステム利用料率を勘案して算出しております。エンタープライズサービスにつきましては、過去実績と同等の営業人員1人当たりの営業収益獲得金額、人員計画で定めた営業人員数（前年度末比+20人）、今後の獲得効率低下の可能性等を勘案したうえで、業績予想を策定しております。

#### ②営業費用

広告宣伝費につきましては、プラットフォームサービスでは昨年実績を大きく上回る総契約額・営業収益を、策定する際の前提としているユーザー数を獲得するため、1ユーザー当たり獲得単価の過去実績をもとに、総額では昨年の実績値を上回る予想値（前年度比約3倍）を算出しております。プラットフォームサービス以外では販路開拓のための外部イベントの発生時期や、その他広報活動の実施予定に基づき前期と同程度の予想値を算出しております。

採用教育費及び人件費につきましては人員計画（前年度末比+80名）及び1人当たり費用の過去実績をもとに、昨年度を大きく上回る予想値を算出しており、地代家賃や減価償却費につきましては過去実績、人員計画及び固定資産の取得予定などに基づき発生する費用を見積り、予想値を算出しております。

当第2四半期累計期間までの業績において経常損失が発生しておりますが、今期は今後のサービスの発展に向け積極的な投資を行う方針であることに加え、ユーザー数や総契約額は順調に伸びているため、今後も当初の計画の範囲内で投資を続ける予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,215,100	2,297,741
売掛金	124,563	140,927
未収入金	76,792	115,838
預け金	180,872	252,150
その他	11,514	37,373
流動資産合計	1,608,843	2,844,032
固定資産		
有形固定資産	2,587	47,415
無形固定資産	-	1,117
投資その他の資産	53,841	115,716
固定資産合計	56,429	164,250
資産合計	1,665,273	3,008,282
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	54,312	183,596
未払法人税等	2,844	4,126
預り金	290,935	402,136
移転損失引当金	844	-
資産除去債務	1,285	-
その他	33,862	60,185
流動負債合計	384,086	650,044
固定負債		
資産除去債務	-	19,743
その他	-	5,747
固定負債合計	-	25,491
負債合計	384,086	675,536
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	766,844	1,440,698
資本剰余金	724,844	1,398,698
利益剰余金	△210,500	△506,275
株主資本合計	1,281,187	2,333,121
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	-	△375
評価・換算差額等合計	-	△375
純資産合計	1,281,187	2,332,746
負債純資産合計	1,665,273	3,008,282



## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業収益	365,787
営業費用	649,699
営業損失(△)	△283,911
営業外収益	
受取利息	168
業務受託手数料	500
講演料・原稿料等収入	716
その他	103
営業外収益合計	1,487
営業外費用	
株式交付費	4,746
営業外費用合計	4,746
経常損失(△)	△287,170
特別損失	
固定資産除却損	2,060
特別損失合計	2,060
税引前四半期純損失(△)	△289,231
法人税、住民税及び事業税	1,199
法人税等調整額	5,343
法人税等合計	6,542
四半期純損失(△)	△295,774

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純損失(△)	△289,231
減価償却費	5,151
固定資産除却損	2,060
株式交付費	4,746
売上債権の増減額(△は増加)	△16,364
未収入金の増減額(△は増加)	△39,046
未払金の増減額(△は減少)	128,134
預り金の増減額(△は減少)	111,200
その他	1,551
小計	△91,797
利息及び配当金の受取額	168
法人税等の支払額	△558
営業活動によるキャッシュ・フロー	△92,187
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△32,309
投資有価証券の取得による支出	△60,509
敷金及び保証金の差入による支出	△14,809
敷金及び保証金の回収による収入	12,158
資産除去債務の履行による支出	△1,382
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,853
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	1,342,961
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,342,961
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,153,919
現金及び現金同等物の期首残高	1,395,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,549,892

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の著しい変動

当第2四半期累計期間において、一般募集（ブックビルディング方式による募集）により、資本金及び資本準備金がそれぞれ576,840千円増加し、有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）により、資本金および資本準備金がそれぞれ97,014千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

当社の事業は、クラウドソーシング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。